

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-529908(P2004-529908A)

【公表日】平成16年9月30日(2004.9.30)

【年通号数】公開・登録公報2004-038

【出願番号】特願2002-573030(P2002-573030)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 38/00

A 6 1 K 31/711

A 6 1 K 39/395

A 6 1 K 45/06

A 6 1 K 47/48

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 3/00

A 6 1 P 3/02

A 6 1 P 5/00

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 9/14

A 6 1 P 11/04

A 6 1 P 13/08

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 33/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/00

A 6 1 P 39/02

A 6 1 P 43/00

// C 1 2 N 15/09

【F I】

A 6 1 K 37/02 Z N A

A 6 1 K 31/711

A 6 1 K 39/395 E

A 6 1 K 45/06

A 6 1 K 47/48

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 3/00

A 6 1 P 3/02

A 6 1 P 5/00

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 9/14

A 6 1 P 11/04

A 6 1 P 13/08

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 29/00
A 6 1 P 31/00
A 6 1 P 31/04
A 6 1 P 31/12
A 6 1 P 33/00
A 6 1 P 35/00
A 6 1 P 37/00
A 6 1 P 39/02
A 6 1 P 43/00
C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月8日(2005.3.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

細胞の除去または破壊を必要とする患者における症状を治療するための薬剤の製造における、神経系タンパク質(NTP)の使用。

【請求項2】

前記薬剤が、経口、皮下、皮内、静脈内、筋内、髄腔内、腹腔内、大脳内(実質内)、脳室内、眼内、動脈内、鼻腔内、腫瘍内、病変内、局所、および経皮からなる群より選択される方法により投与される、請求項1に記載の使用。

【請求項3】

前記薬剤が、外科的切除、移植(transplantation)、移植片移植(grafting)、化学療法、免疫療法、ワクチン化、熱、マイクロ波または電気切除、寒冷療法、レーザ療法、光線療法、遺伝子療法、および放射線からなる治療群より選択された患者の治療の前、途中または後に、患者に投与される、請求項1に記載の使用。

【請求項4】

前記症状が、肺、胸、胃、脾臓、前立腺、膀胱、骨、卵巣、皮膚、腎臓、洞、結腸、腸、胃、直腸、食道、心臓、脾臓、唾液腺、血液、脳およびその被層、脊椎およびその被層、筋肉、結合組織、副腎、副甲状腺(parathyroid)、甲状腺、子宮、精巣、下垂体、生殖器、肝臓、胆嚢、眼、耳、鼻、喉、扁桃、口、リンパ節およびリンパ球系からなる群より選択される組織の良性または悪性腫瘍からなる群より選択される、請求項1に記載の使用。

【請求項5】

前記症状が、肺、胸、胃、脾臓、前立腺、膀胱、骨、卵巣、皮膚、腎臓、洞、結腸、腸、胃、直腸、食道、心臓、脾臓、唾液腺、血液、脳およびその被層、脊椎およびその被層、筋肉、結合組織、副腎、副甲状腺、甲状腺、子宮、精巣、下垂体、生殖器、肝臓、胆嚢、眼、耳、鼻、喉、扁桃、口、リンパ節およびリンパ球系からなる群より選択される組織の過形成、肥大または過剰増殖からなる群より選択される、請求項1に記載の使用。

【請求項6】

前記症状が、扁桃肥大である、請求項1に記載の使用。

【請求項7】

前記症状が、前立腺肥大である、請求項5に記載の使用。

【請求項8】

前記症状が、肺、胸、胃、脾臓、前立腺、膀胱、骨、卵巣、皮膚、腎臓、洞、結腸、腸

、胃、直腸、食道、心臓、脾臓、唾液腺、血液、脳およびその被層、脊椎およびその被層、筋肉、結合組織、副腎、副甲状腺、甲状腺、子宮、精巣、下垂体、生殖器、肝臓、胆嚢、眼、耳、鼻、喉、扁桃、口、リンパ節およびリンパ球系からなる群より選択される組織の、ウイルスによる改変、細菌による改変または寄生生物による改変からなる群より選択される、請求項1に記載の使用。

【請求項9】

前記症状が、肺、胸、胃、脾臓、前立腺、膀胱、骨、卵巣、皮膚、腎臓、洞、結腸、腸、胃、直腸、食道、心臓、脾臓、唾液腺、血液、脳およびその被層、脊椎およびその被層、筋肉、結合組織、副腎、副甲状腺、甲状腺、子宮、精巣、下垂体、生殖器、肝臓、胆嚢、眼、耳、鼻、喉、扁桃、口、リンパ節およびリンパ球系からなる群より選択される組織の奇形からなる群より選択される、請求項1に記載の使用。

【請求項10】

前記症状が、組織に対する美容的改変である、請求項1に記載の使用。

【請求項11】

前記組織が、皮膚、眼、耳、鼻、喉、口、筋肉、結合組織、脂肪組織、毛および胸からなる群より選択される組織である、請求項10に記載の使用。

【請求項12】

前記症状が、血管疾患である、請求項1に記載の使用。

【請求項13】

前記症状が、痔である、請求項1に記載の使用。

【請求項14】

前記症状が、拡張蛇行静脈である、請求項1に記載の使用。

【請求項15】

前記血管疾患が、アテローム硬化症または動脈硬化症である、請求項12に記載の使用。

【請求項16】

前記症状が、炎症性疾患、自己免疫疾患、代謝性疾患、遺伝性/遺伝子疾患、外傷性疾患または身体的傷害、栄養欠乏疾患、感染性疾患、アミロイド疾患、線維症疾患、蓄積症、先天性奇形、酵素欠損疾患、被毒、中毒、環境性疾患、放射線疾患、内分泌性疾患、変性疾患および機械的疾患(mechanical disease)からなる群より選択される、請求項1に記載の使用。

【請求項17】

前記NTPが、抗体、抗体フラグメントおよび抗体様結合分子からなる群より選択される分子とコンジュゲート、連結または結合し、該分子は他の細胞への結合よりも、腫瘍または他の標的への結合について高い親和性を有する、請求項1に記載の使用。

【請求項18】

前記NTPが、タンパク質または他の分子にコンジュゲート、連結または結合しており、該組成物が、腫瘍特異的もしくは部位特異的酵素もしくはプロテアーゼ、または腫瘍もしくは他の所望でない細胞を標的化する抗体コンジュゲートにより、腫瘍または他の所望でない細胞の部位またはその付近において切断されてNTPを放出する、請求項1に記載の使用。

【請求項19】

前記NTPが、タンパク質または他の分子にコンジュゲート、連結または結合しており、該組成物が、前記治療する組織を、光(レーザ療法または他の光力的もしくは光活性化療法など)、他の形態の電磁放射線(赤外線、紫外線、X線もしくは線など)、局所加熱、もしくは線、超音波放射、または他の局所エネルギー源に曝露した際に、NTPを放出する、請求項1に記載の使用。

【請求項20】

前記NTPを、サイトカイン、増殖因子、抗生物質、アポトーシス誘発剤、抗炎症剤、および/または化学療法剤等の他の医薬組成物と共に組み合わせて用いる、請求項1に記載

の使用。

【請求項 2 1】

前記NTPを、デンドリマー、フラーレンおよび他の合成分子、高分子および巨大分子と組み合わせて用い、該NTPは、単独で、または他の細胞への結合よりも腫瘍もしくは他の標的への結合について親和性が高い分子と共に、該分子、高分子または巨大分子とコンジュゲート、付着またはその中に封入されている、請求項1に記載の使用。

【請求項 2 2】

前記NTPが、NTPと、抗体、抗体フラグメントおよび抗体様結合分子からなる群より選択される分子とから構成される単一の新規クローニング組換え分子の一部であり、該分子は他の細胞への結合よりも腫瘍または他の標的への結合についての親和性が高い、請求項1に記載の使用。

【請求項 2 3】

前記NTPが、AD7c-NTP(配列番号1)、配列番号2～9により同定されるタンパク質、神経臓系タンパク質、臓系タンパク質、ならびにそれらの任意の断片、相同体、変異体、誘導体、ペプチド模倣体、逆転Dペプチドおよび鏡像異性体からなる群より選択される、請求項1に記載の使用。

【請求項 2 4】

前記NTPが、経口、皮下、皮内、静脈内、筋内、髄腔内、腹腔内、大脳内(実質内)、脳室内、眼内、動脈内、鼻腔内、腫瘍内、病変内、局所、および経皮からなる群より選択される方法により投与される、請求項23に記載の使用。

【請求項 2 5】

前記薬剤が、外科的切除、移植、移植片移植、化学療法、免疫療法、ワクチン化、熱または電気切除、寒冷療法、レーザ療法、光線療法、遺伝子療法、および放射線からなる治療群より選択される患者の治療の前、途中または後に、患者に投与される、請求項23に記載の使用。

【請求項 2 6】

前記症状が、肺、胸、胃、臓、前立腺、膀胱、骨、卵巣、皮膚、腎臓、洞、結腸、腸、胃、直腸、食道、心臓、脾臓、唾液腺、血液、脳およびその被層、脊椎およびその被層、筋肉、結合組織、副腎、副甲状腺、甲状腺、子宮、精巣、下垂体、生殖器、肝臓、胆嚢、眼、耳、鼻、喉、扁桃、口、リンパ節およびリンパ球系からなる群より選択される組織の良性または悪性腫瘍である、請求項23に記載の使用。

【請求項 2 7】

前記症状が、肺、胸、胃、臓、前立腺、膀胱、骨、卵巣、皮膚、腎臓、洞、結腸、腸、胃、直腸、食道、心臓、脾臓、唾液腺、血液、脳およびその被層、脊椎およびその被層、筋肉、結合組織、副腎、副甲状腺、甲状腺、子宮、精巣、下垂体、生殖器、肝臓、胆嚢、眼、耳、鼻、喉、扁桃、口、リンパ節およびリンパ球系からなる群より選択される組織の過形成、肥大または過剰増殖からなる群より選択される、請求項23に記載の使用。

【請求項 2 8】

前記症状が、扁桃肥大である、請求項27に記載の使用。

【請求項 2 9】

前記症状が、前立腺肥大または痔である、請求項27に記載の使用。

【請求項 3 0】

前記症状が、肺、胸、胃、臓、前立腺、膀胱、骨、卵巣、皮膚、腎臓、洞、結腸、腸、胃、直腸、食道、心臓、脾臓、唾液腺、血液、脳およびその被層、脊椎およびその被層、筋肉、結合組織、副腎、副甲状腺、甲状腺、子宮、精巣、下垂体、生殖器、肝臓、胆嚢、眼、耳、鼻、喉、扁桃、口、リンパ節およびリンパ球系からなる群より選択される組織の、ウイルスによる改変、細菌による改変または寄生生物による改変からなる群より選択される、請求項23に記載の使用。

【請求項 3 1】

前記症状が、肺、胸、胃、臓、前立腺、膀胱、骨、卵巣、皮膚、腎臓、洞、結腸、腸

、胃、直腸、食道、心臓、脾臓、唾液腺、血液、脳およびその被層、脊椎およびその被層、筋肉、結合組織、副腎、副甲状腺、甲状腺、子宮、精巣、下垂体、生殖器、肝臓、胆嚢、眼、耳、鼻、喉、扁桃、口、リンパ節およびリンパ球系からなる群より選択される組織の奇形からなる群より選択される、請求項23に記載の使用。

【請求項32】

前記症状が、組織に対する美容的改变である、請求項23に記載の使用。

【請求項33】

前記組織が、皮膚、眼、耳、鼻、喉、口、筋肉、結合組織、脂肪組織、毛および胸からなる群より選択される組織である、請求項32に記載の使用。

【請求項34】

前記症状が、血管疾患である、請求項23に記載の使用。

【請求項35】

前記症状が、痔である、請求項23に記載の使用。

【請求項36】

前記症状が、拡張蛇行静脈である、請求項23に記載の使用。

【請求項37】

前記血管疾患が、アテローム硬化症または動脈硬化症である、請求項30に記載の使用。

【請求項38】

前記症状が、炎症性疾患、自己免疫疾患、代謝性疾患、遺伝性/遺伝子疾患、外傷性疾患または身体的傷害、栄養欠乏疾患、感染性疾患、アミロイド疾患、線維症疾患、蓄積症、先天性奇形、酵素欠損疾患、被毒、中毒、環境性疾患、放射線疾患、内分泌性疾患、変性疾患および機械的疾患からなる群より選択される、請求項23に記載の使用。

【請求項39】

前記NTPが、抗体、抗体フラグメントおよび抗体様結合分子からなる群より選択される分子とコンジュゲート、連結または結合し、該分子は他の細胞への結合よりも、腫瘍または他の標的への結合について高い親和性を有する、請求項23に記載の使用。

【請求項40】

前記NTPが、NTPと、抗体、抗体フラグメントおよび抗体様結合分子からなる群より選択される分子とから構成される単一の新規クローニング組換え分子の一部であり、該分子は他の細胞への結合よりも、腫瘍または他の標的への結合についての親和性が高い、請求項23に記載の使用。

【請求項41】

前記NTPが、タンパク質または他の分子にコンジュゲート、連結または結合しており、該組成物が、腫瘍特異的もしくは部位特異的酵素もしくはプロテアーゼ、または腫瘍もしくは他の所望でない細胞を標的化する抗体コンジュゲートにより、腫瘍または他の所望でない細胞の部位またはその付近において切断されてNTPを放出する、請求項23に記載の使用。

【請求項42】

前記NTPが、タンパク質または他の分子にコンジュゲート、連結または結合しており、該組成物は、前記治療する組織が、光(レーザ療法または他の光力的もしくは光活性化療法など)、他の形態の電磁放射線(赤外線、紫外線、X線もしくは線放射など)、局所加熱、もしくは線、超音波放射、または他の局所エネルギー源に曝露した際に、NTPを放出する、請求項23に記載の使用。

【請求項43】

前記NTPを、治療する症状に適した、サイトカイン、増殖因子、抗生物質、アポトーシス誘発剤、抗炎症剤、および/または化学療法剤等の他の医薬組成物と共に組み合わせて用いる、請求項23に記載の使用。

【請求項44】

前記NTPを、デンドリマー、フラーレンおよび他の合成分子、高分子および巨大分子と

組み合わせて用い、該NTPは、単独で、または他の細胞への結合よりも腫瘍もしくは他の標的への結合についての親和性が高い分子と共に、該分子、高分子または巨大分子とコンジュゲート、付着またはその中に封入されている、請求項23に記載の使用。

【請求項45】

前記NTPが、NTPと、抗体、抗体フラグメントおよび抗体様結合分子からなる群より選択される分子とから構成される单一の新規クローン化組換え分子の一部であり、該分子は他の細胞への結合よりも腫瘍または他の標的への結合についての親和性が高い、請求項23に記載の使用。

【請求項46】

細胞の除去または破壊を必要とする患者における症状を治療するための薬剤の製造における、神経糸タンパク質(NTP)をコードする遺伝子の使用。

【請求項47】

細胞の除去または破壊を必要とする患者における症状を治療するための神経糸タンパク質(NTP)を含む医薬組成物。

【請求項48】

前記NTPが、AD7c-NTP(配列番号1)、配列番号2～9により同定されるタンパク質、神経臓糸タンパク質、臓糸タンパク質、ならびにそれらの任意の断片、相同体、変異体、誘導体、ペプチド模倣体、逆転Dペプチドおよび鏡像異性体からなる群より選択される、請求項47に記載の組成物。

【請求項49】

前記NTPが、抗体、抗体フラグメントおよび抗体様結合分子からなる群より選択される分子とコンジュゲート、連結または結合し、該分子は他の細胞への結合よりも、腫瘍または他の標的への結合について高い親和性を有する、請求項47に記載の組成物。

【請求項50】

前記組成物がさらに、治療する症状に適した、サイトカイン、増殖因子、抗生物質、アポトーシス誘発剤、抗炎症剤、および/または化学療法剤を含む、請求項47に記載の組成物。

【請求項51】

前記NTPを、デンドリマー、フラーレンおよび他の合成分子、高分子および巨大分子と組み合わせて用い、該NTPは、単独で、または他の細胞への結合よりも腫瘍もしくは他の標的への結合について親和性が高い分子と共に、該分子、高分子または巨大分子とコンジュゲート、付着またはその中に封入されている、請求項47に記載の組成物。

【請求項52】

前記NTPが、NTPと、抗体、抗体フラグメントおよび抗体様結合分子からなる群より選択される分子とから構成される单一の新規クローン化組換え分子の一部であり、該分子は他の細胞への結合よりも腫瘍または他の標的への結合についての親和性が高い、請求項47に記載の組成物。

【請求項53】

前記症状が、肺、胸、胃、脾臓、前立腺、膀胱、骨、卵巣、皮膚、腎臓、洞、結腸、腸、胃、直腸、食道、心臓、脾臓、唾液腺、血液、脳およびその被層、脊椎およびその被層、筋肉、結合組織、副腎、副甲状腺、甲状腺、子宮、精巣、下垂体、生殖器、肝臓、胆嚢、眼、耳、鼻、喉、扁桃、口、リンパ節およびリンパ球系からなる群より選択される組織の良性または悪性腫瘍からなる群より選択される、請求項47に記載の組成物。

【請求項54】

前記症状が、肺、胸、胃、脾臓、前立腺、膀胱、骨、卵巣、皮膚、腎臓、洞、結腸、腸、胃、直腸、食道、心臓、脾臓、唾液腺、血液、脳およびその被層、脊椎およびその被層、筋肉、結合組織、副腎、副甲状腺、甲状腺、子宮、精巣、下垂体、生殖器、肝臓、胆嚢、眼、耳、鼻、喉、扁桃、口、リンパ節およびリンパ球系からなる群より選択される組織の過形成、肥大または過剰増殖からなる群より選択される、請求項47に記載の組成物。

【請求項55】

前記症状が、組織に対する美容的改変である、請求項4-7に記載の組成物。

【請求項5-6】

前記症状が、炎症性疾患、自己免疫疾患、代謝性疾患、遺伝性/遺伝子疾患、外傷性疾患または身体的傷害、栄養欠乏疾患、感染性疾患、アミロイド疾患、線維症疾患、蓄積症、先天性奇形、酵素欠損疾患、被毒、中毒、環境性疾患、放射線疾患、内分泌性疾患、変性疾患および機械的疾患からなる群より選択される、請求項4-7に記載の組成物。